

# 榛原総合病院 だより

2026  
第 244 号

## 新任医師紹介

### < 1 月赴任医師 >

■ 消化器内科 : 中村 太亮 医師

※鈴木医師と交代

■ 外科 : 仲野 将隆 医師

※中野医師と交代

## 看護学生向けイベントのご案内

当院では、看護学生の皆さまを対象に、病院見学会およびインターンシップ(就業体験)を開催します。いずれも学年・定員の制限はありません。

■ 病院見学会 日時: 2026年3月10日(火) 9:30~11:30

内容: 病院概要説明、院内見学

その他: 交通費一部支給

申込期限: 2026年3月2日(月)

■ インターンシップ(就業体験) 日時: 2026年3月25日(水) 9:00~15:00

内容: 希望病棟での就業体験、先輩看護師との交流

その他: 交通費一部支給、昼食は職員食堂を利用

申込期限: 2026年3月16日(月)

■ 申込み・お問い合わせ

TEL: 0548-22-1131(代表) 担当: 総務課 吉田

※ホームページ・就職サイトからもお申込みいただけます。

## ドクターからのメッセージ

### 『ノーベル賞とアトピー性皮膚炎のお話し』

小児科 北川篤史(きたがわあつし)



#### 【ノーベル賞と制御性T細胞】

2025年は日本から新たに2人のノーベル賞受賞者が誕生し、大きな話題となりました。2人のうち、ノーベル生理学・医学賞を受賞した大阪大学の坂口志文先生の研究は、「制御性T細胞による免疫寛容の発見」でした。この研究によって、将来的には自己免疫疾患や癌に対する新たな治療法の開発が期待されています。

Nobel Prize



#### 【T細胞とアトピー性皮膚炎】

アトピー性皮膚炎はかゆみや皮膚病変を伴った慢性の炎症性疾患ですが、その病態形成にはT細胞が深く関係していると言われていています。様々な刺激が皮膚に加わるとT細胞を中心とする免疫経路が活性化し、炎症反応の増大や皮膚障害が引き起こされるのです。

#### 【アトピー性皮膚炎と生物学的製剤】

いままでアトピー性皮膚炎の治療法の中心は、ステロイド外用薬(ぬり薬)などによる抗炎症外用剤の使用でした。しかし外用薬治療にも限界があり、多くの患者さんが寛解と増悪を繰り返していました。そこで最近、もっと根本的な治療法が開発されました。それが「生物学的製剤(抗体医薬)」を使って、T細胞の関係する免疫反応のシグナル伝達を阻害する方法です。アトピー性皮膚炎の、病態の根本に作用して炎症を抑制するという画期的な治療法で、大人の患者さんはもちろん生後6か月以上の赤ちゃんまで使用可能になっています。



#### 【榛原総合病院を受診する患者さんへ】

このように医学は常に進歩しており、身近な疾患でも新しい治療法が次々と誕生しています。なかなか良くならないアトピー性皮膚炎にお困りの方は、ぜひ一度お医者さんに相談してみてくださいね。



## 職員を募集します

- ①訪問看護師・看護師(パートも可) ②薬剤師 ③言語聴覚士 ④介護福祉士・看護補助者(パートも可)  
⑤医師事務作業補助者 ⑥医局秘書 ⑦事務員(医事課) ⑧保育士

※時間 【日勤】8:30~17:00 【夜勤】16:30~9:00 【当直】17:00~8:30

※勤務形態および働き方の詳細につきましては、右記QRコードよりご確認ください。

※休日 年間休日 110日、年次有給休暇(10~20日)、慶弔休暇、リフレッシュ休暇(0~4日)

※待遇 昇給年1回、賞与年2回、各種保険完備、交通費規定支給、退職金制度・住宅手当・家族手当有

※その他 看護師寮完備、保育所(24時間)完備

※詳細につきましては、直接お問合せください。問合せ: 総務課 吉田(よしだ) ☎0548(22)1131

受診の際には、必ず『おくすり手帳』をご持参ください。



見学も随時受けします

採用サイト